

## 女性部会コーナー

# 浜松東税務署長 特別講演会に参加して

松下和子 アップ急行(有)



税を考える週間として、11月15日(水)、サーラシティ浜松において、加藤裕之浜松東税務署長をお迎えし特別講演会が開催され、浜松東法人会・浜松青色申告会共催で50名の方々が参加されました。

「お酒と税金について」と題し、日本酒と出会える蔵めぐりの楽しさ、人との出会いや地域のすばらしさ等をお話しされました。またお話だけでなく、実際にアルコールパッチテストも体験することができました。パッチテープを貼って皮膚がどのように変化したかでお酒に強い体質か弱い体質かを知ることができます。自分に合った飲む度合いがわかり、大爆笑の連続でした。

10月1日の日本酒の日に因み、静岡県にある22社の酒造会社が参加されての地酒イベントが毎年賑わっている。“名水の所には名酒有” 最近では、ワイン酵母で日本酒を造る製法等もあって、フルーティーで飲みやすく人気のある酒になっている。

蔵めぐりのお話では、蔵開きの試飲で8,000杯(1カップの日本酒)用意されても午前中でなくなり、一升瓶が1,000本も用意されている人気の蔵のお話や、合同で美味しいお酒を楽しませてくれる岐阜県の小さな酒蔵のお話、三重県でのサミット開催に用意されたお酒は今では貴重なお酒になり、手に

入れることが困難になったお話。さらに地元浜松市でも有名な花の舞さんのお酒もおいしく、蔵めぐりも楽しませてくれるなどなど、お酒好きな方にはたまらないお話が満載でした。

酒税法が改正され、ビール350ミリリットルが77円で一番高く、ワインは売値に関係なく1リットルあたり80円(1キロリットル8万円)で、高価なワインの方が税金が安い等のお話も織り交ぜながらの講演でした。

身近に聞くこともないお酒に関するよもやま話はとても新鮮で、あっという間に終わり、有意義な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。明日への活力に活かしたく、ほろ酔い気分になり家路に着きました。

